

24時間血圧測定 注意事項

検査をされる方へ

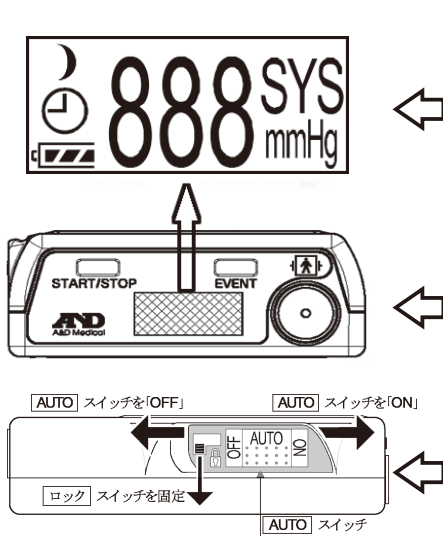
血圧値は身体や精神状態によって大きく変化します。

日常生活での24時間の貴方の血圧変化を知ることにより、血圧値が正常か否か、また降圧剤が必要かどうか、治療の効果はどうか等の重要な情報を得ることができます。

したがって、この行動記録表は貴方にとって大切な資料となりますので充分趣旨を理解し、例を参考に必要事項を記入してください。

血圧計の操作方法

基本的には全自動血圧計ですが、何らかの理由で血圧計を操作する場合には参考にしてください。



① マーク
● 自動血圧測定モードに入っている時に点灯します。

マーク
● 電池容量が不足した場合に点灯します。

マーク
● 睡眠時測定間隔になっている時に点灯します。
(自動血圧測定sleepモードの時に使用します。医師の指示があった場合にのみ使用してください。)

スタート/ストップ キー
● マニュアル測定を開始する時に押してください。
● 測定中は、測定を中断する時に押してください。

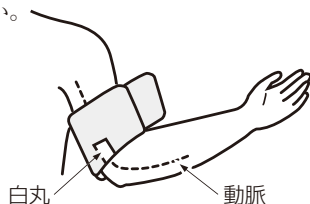
イベント キー
● 睡眠時測定間隔を選択、解除するときに使用します。
(自動血圧測定sleepモードの時に使用します。医師の指示があった場合にのみ使用してください。)

自動入/切 スライドスイッチ
● 自動血圧測定モードに入る時、または、抜ける時に使用します。
右にスライドします。
停止する時は、左にスライドし、青色にします。
①マークを消灯します。

腕帯の装着について

腕帯を何らかの理由で取り外したとき、再装着には次の点に注意してください。

- ◆ 腕帯の白丸を、上腕動脈上に合わせてください。
- ◆ 腕帯をしめた時に、指が2本入る程度にしめてください。
- ◆ エアーチューブが、折れたり・圧迫されていないかを確認してください。



血圧測定中の注意

- ◆ 腕帯の白丸を、上腕動脈上にあることを確認してください。ずれている場合は、修正してください。
- ◆ 腕帯が指1本入る程度に、締め付けられていることを確認してください。ゆるい場合は、しめ直してください。
- ◆ 睡眠の際は、エアーチューブが折れたり、圧迫されないように注意してください。
- ◆ 自動車の運転等腕の動きを阻害することで危険を伴う作業は絶対にしないでください。

異常の場合には

- ◆ 腕の痛み等、異常を感じた場合、速やかに腕帯を外してください。

正しく測定するためには

- ◆ 歩行中や手仕事を行っているときに、血圧測定が開始された場合、なるべく腕を動かさないでください。
- ◆ 乗り物に乗っているときに、血圧測定が開始された場合、振動が伝わらないように、腕を身体から離してください。

行動記録表(24時間血圧測定検査)

※裏面の注意事項、記入例を必ずお読みください。

被検査者

氏名	殿	男・女	病院	病院	科
生年月日	年 月 日	才	カルテ番号		
住所	-	-	測定開始	年 月 日	時
電話番号			測定終了	年 月 日	時
血圧計番号			I.D番号		

測定間隔

1ブロック	時～ 時 (分間隔)	4ブロック	時～ 時 (分間隔)
2ブロック	時～ 時 (分間隔)	5ブロック	時～ 時 (分間隔)
3ブロック	時～ 時 (分間隔)	6ブロック	時～ 時 (分間隔)

行動記録

時刻	行動	症状
:		
:		
:		
:		
:		
:		
:		
:		
:		
:		
:		
:		

就寝時刻 時 分

起床時刻 時 分

行動記録表 記入例

時刻	行動	症状
11:00	測定開始	緊張する
11:40	病院より帰宅	
12:00	昼食・薬を飲む	
14:00	自転車で買い物に行く	息切れがした、汗をかく
15:15	友人と立話しをする	興奮してしまった